

件に近付く

カボコン」

カボテック

梁長寿命化工事を中心に、全国で1000件に近づいた。

カボコンは炭素繊維の集成板で、「鉄の強度と繊維の軽さ」が売り物だ。

同工法はカボコンを構造物に接着させ、母材の強度を高めるもの。母材は鋼でもコンクリートでも適用できる。

幅50mmで、厚さは2mm、2.4mm、6.0mmの3種ある。2.4mmなら、延長50mの連続の荷姿を女性が



橋梁通信 2018年11月15日(木) 7面

持ち運べるほど軽い。

施工手順は、①接着面を電動工具で下地処理し、油脂などの汚れを除去②専用のエポキシ樹脂接着剤でカボコンを貼り付け③ローラーで押し

え、余分な接着剤を取り除くというシンプルさが特徴だ。

補強後の構造物の強度は、接着したカボコンを外鉄筋と考える「終局状態設計法」(限界状態設

4方向成形板も開発

同社は、炭素繊維を4方向に編み込んで成形した新しいカボコンを開発した。

工の指導体制を強化し、さらなるニーズに添えていきたい」と抱負を述べている。

同社は、年あたり延長2000mの実績を3年後には5倍に伸ばしたい方針だ。

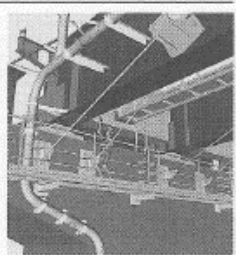
Click3Dが「活用促進技術」に

実績が1000件超える

オフィスケイワン

オフィスケイワン(大阪府西区、保田敬一社長)が開発・販売する橋梁3次元(3D)モデリングシステム「Click3D」(クリックスリーディー)が、国土交通省NETISの事後評価で、継続調査を必要としない「VE評価」(登録番号KT・140116・VE)となった。また有用な技術の位置づけとして、平成30年度活用促進技術に指定された。

Click3Dは、エクセルに線形座標や設計



情報を入力するだけで、オートCAD上に3Dモデルが作成でき、高度な3D操作や専用オペレーターを不要とした画期的なソフト。「CIM導入ガイドライン(案) 橋梁編」のモデル詳細度300~400レベルの鋼橋3Dモデルを、1週間程度で作成することができる

新設橋にとどまらず、CIMモデル化されていない既設橋の3Dモデルも低コストで作成できるため、CIMによる高度な維持管理で活用が期待される。

現在までに国交省や高速道路会社の発注工事などで、干涉チェックや架設計画の可視化・安全対策などに1000件超の実績を数えた。

ソフトの販売価格は付加機能によって50~70万円。これまでに12本を販

売したほか、運用サービスとしての採用が数十件を超えている。

来春をめどに、新たに鋼橋とPC橋専用機能を付加したサービスも開始する予定だ。保田社長は「Click3Dの認知度向上に合わせて引き合いが増えている。橋梁専用機能の早期リリースにより、販売拡大を目指したい」と話している。

訂正 橋梁通信11月1日付10面「採用計画アンケート」で、表と本文にある「東京製鋼」は、「東鋼橋梁」の誤り、本文4段目5行目は「(栃木県下野市、佐藤浩社長)」の誤りでした。お詫びして訂正します。